

新闻摘要



(2013年12月21日~

2014年3月20日)

12月20日(星期五)

满蒙开拓和平纪念馆（长野县下伊那郡阿智村驹场）决定向预定于明年在村内开镜拍摄的、以满蒙开拓为题材的电影提供合作。电影的主人公是阿智村驹场长岳寺的已故住持山本慈照先生，他曾为帮助遗华孤儿回归日本鞠躬尽瘁。影片名为《望乡之钟》，根据儿童文学作家和田登先生（77岁，居住于长野市若里）所著、描述山本先生一生的小说改编，由曾担任《赤脚根》制片人的电影导演山田火砂子女士（81岁）执导。

1月14日(星期二)

13日，支援中国残留孤儿取得日本国籍之会的事务局长千野诚治先生因心力衰竭而与世长辞。千野诚治先生出生于东京，享年89岁。千野先生曾在15岁时作为满蒙开拓团的青少年义勇军前往中国东北，战后被拘留于西伯利亚3年。回日本后除了致力于为归国者补办户口之外，还创设了“中国归国者之墓”（西多摩灵园），

并投身于建造“满洲母子地藏”（浅草寺）及“向中国养父养母谢恩之碑”等活动。



ニュース記事から

ねん がつ にち

(2013年12月21日~2014年3月20日)

はつか

12月20日(金)

まんもうかいたくへいわ きねんかん ながのけんしもいなぐんあ
満蒙開拓平和記念館（長野県下伊那郡阿
ちむらこまば そんない らいねん さつえい よてい
智村駒場）は、村内で来年に撮影が予定され
ている満蒙開拓を題材にした映画の制作に
きょうりょく 協力することを決めた。映画は同村駒場の
ちょうがくじ もとじゅうしょく ちゅうごくざんりゅうこじ
長岳寺の元住職で中国残留孤児らの
きこく じんりょく こやまとじしよう しうじん
帰国に尽力した故山本慈昭さんが主人
こう だいめい ほうきょう かね じどうぶんがくさつ
公。映画の題名は「望郷の鐘」。児童文学作
かわだのほる さい しわかさと
家の和田登さん（77歳、長野市若里）が山
本さんの生涯を描いた本を題材にする。監
かん
督を務めるのは、映画「はだしのゲン」のプロ
げん ふる
デューサーを務めた映画監督、山田火砂子さん
やまだひさこ
(81歳)。

1月14日(火)

こくせきしゆとく しえん かい
中国残留孤児の国籍取得を支援する会の
じむきょくちゅうちのせいじ しんふぜん
事務局長千野誠治さんが13日、心不全で
しきよ とうきょうう
死去。89歳、東京生まれ。15歳で満蒙開拓
せいしょうねんぎゅうぐん とうほくぶ わた
青少年義勇軍として中国東北部に渡った。
せんご かん しべりあ よくりゅう しゅうせき
戦後3年間、シベリアに抑留された。就籍
ほか のはか にしたま
などの支援の他、「中国帰国者之墓」（西多摩
れいえん そうせつ ほしじぞう せんそうじ
靈園）創設、「まんしゅう母子地蔵」（浅草寺）
ようふほ かんしゃひ こんりゅう かつどう
「中国養父母に感謝の碑」建立などの活動
あこな を行った。



1月24日(星期五)

为向在战后混乱局势下把留在中国东北地区的日本孤儿抚养大的中国养父养母表示感谢而建造的石碑，于鹿儿岛天保山公园落成，并于23日举行了揭幕仪式。建造此石碑的发起人是居住在鹿儿岛的残留孤儿鬼冢建一郎先生(73岁)。居住在同市的残留孤儿及地方政府人员约计70人参加了石碑揭幕仪式。中国驻福冈总领事馆李天然总领事说：“衷心表示感谢。看到如此庄严的场面使我万分感慨。”

1月24日(金)

終戦の混乱で中国東北部に残された日本人孤児を育てた中国人養父母たちへの感謝の石碑が、鹿児島市の天保山公園にでき、23日、除幕された。発起人は鹿児島市に住む残留孤児、鬼塚建一郎さん(73歳)。除幕式は市内に住む残留孤児、自治体など関係者約70人を迎えて開かれた。中国駐福岡総領事館の李天然総領事は「心より感謝を申し上げる。この厳かな雰囲気を目の当たりにして感無量の気持ちです」と述べた。

2月1日(土)

長野県と長野県日中友好協会による中国帰国者への理解を深める県民のつどい(日中友好春節交流会・長野)が2月11日、サンパルテ山王(長野市)で開かれる。内容は帰国者の意見発表や中国歌舞、懇親交流会で、帰国者とともに春節を祝い、交流し、帰国者の現状について理解を深めるために開催される。

3月18日(火)

厚生労働省は、樺太等残留邦人の集団一時帰国8名(再一時帰国8名、介護人7名)の日程が3月19日(水)から3月29日(土)までの11日間になったと発表した。日本年度の樺太等残留邦人の集団一時帰国事業は、特定非営利活動法人日本サハリン協会に委託して実施している。

①ご注意

本欄目的新闻皆为一般报章的报道摘要。因此，并非为政府正式公布之内容，其中一部分还包含媒体的观察消息，敬请注意。